

一般社団法人日本人間工学会第 68 回理事会 議事録

1. 開催日: 2024 年 1 月 10 日 (水) 17:00~19:25

2. 開催場所: Zoom による遠隔会議

3. 出席理事: <敬称略>

・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)

(理事): 鳥居塚崇(理事長), 中西美和(副理事長), 青木洋貴(学術), 青木宏文(広報), 石橋圭太(若手支援), 榎原毅(編集・国際・国際誌・将来構想), 笠松慶子(財務), 狩川大輔(安全), 久保博子(学術), 鴻巣努(表彰), 境薫(若手支援), 佃五月(企業活動), 中川千鶴(総務), 松田文子(広報・選管), 横井元治(総務), 横山詔常(企業活動)

[16 名]

(理事兼支部長): 小林大二(北海道・第 65 回大会), 高橋信(東北), 三林洋介(関東), 斎藤真(東海), 小谷賢太郎(関西・国際), 石原茂和(中国・四国), 庄司卓郎(九州・沖縄) [7 名]

[計: 23 名]

(欠席者): 河合隆史(財務), 神田幸治(若手支援), 能登裕子(学術), 持丸正明(将来構想)

・オブザーバー: 井出有紀子(認定機構), 佐藤洋(JENC), 下村義弘(第 64 回大会), 八木佳子(認定機構), 吉武良治(表彰・役員候補推薦)

・監事: 赤松幹之

・事務局: 米倉裕美

※全員ネット会議出席者

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 23 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

会議初めに、鳥居塚理事長より 1 月 1 日の能登半島地震の被災に対する哀悼の意が述べられ、減免等の処置を行うとの話があった。

【審議事項】

(1) 第 1 号議案 2025 年第 66 回大会について(理事長)

2025 年の第 65 回大会開催地と大会長について、鳥居塚理事長より、産業医科大学の榎原毅理事の推挙があり、承認された。榎原理事より、北九州市からの助成についての説明があった。

(2) 第 2 号議案 部会主催セミナーについて(総務)

中川総務理事より、今後の研究部会継続の条件であるセミナー開催として、海事部会と JES との共催セミナーを 1 月 17 日に行う旨の報告があり、今回の開催実績を参考にしながら、今後の進め方については議論していきたいとの話があった。

(3) 第 3 号議案 休会制度(会費減額・免除)について(若手支援・総務)

石橋若手支援副委員長より、若手支援としての会員資格の改正（卒後 2 年間は準会員として会員を継続できる）について、準会員の定義および準会員に対する会費減額制度に関する細則案の提案があり、審議の上承認された。なお、社会人大学生/大学院生の扱いについても同じ扱いとし、本人が会費減額制度を申請した場合は適用することとなった。

また、若手支援の一環として審議されてきた休会制度については、代議員（社員）の議決権は法律に関わる権利で、定款改定による変更は難しいとの司法書士の見解が説明された。このため、休会制度の導入は見送ること、また代替措置として減免制度での対応について提案があり、承認された。

(4) 第 4 号議案 認定人間工学アシスタントの名称変更について(認定機構)

八木機構長より、現在のアシスタント資格の名称変更について、再審議の経緯説明とともに、新名称案として「認定人間工学プラクティショナー」の提案があり、承認された。

(5) 第 5 号議案 60周年記念の特集記事について(編集)

榎原編集委員長より、60 周年記念の特集企画として、「理事が考えるリサーチ・イシュー」を、2024 年 4 月号～2025 年 2 月号の各号に掲載することが提案され承認された。理事以外の執筆について質問があり、理事会オブザーバーも執筆を希望する場合は掲載することとなった。

(6) 第 6 号議案 人間工学実践論文賞の規程について(表彰・編集)

榎原編集委員長・吉武表彰委員長より、人間工学実践論文賞の規程案について、前回の理事会での指摘への回答として、選考からの除外条件を「当該論文が人間工学論文賞を同時に受賞予定の場合」と変更するとの提案があり、承認された。

(7) 第 7 号議案 ABW の活動について(理事長)

鳥居塚理事長より、経産省からの「ウェルビーイングを実現するアクティビティベースワーク (ABW) に適した人間工学の標準開発」について提案があり、JES で受けることを前提に進めることが承認された。

(8) 第 8 号議案 大型予算プロジェクトの提案について

榎原理事より厚生労働科学研究費補助金の公募課題として「腰痛予防に効果的な対策の推進のための研究」が募集されており、人間工学会を中心学会として Minds 準拠型の予防介入ガイドラインを整備・公表することやこれに伴う体制整備の提案があり、組織体制案が示された。予算管理などの事務の扱いについて赤松監事より質問があり、JES の事務局がお金の管理をするのではなく、原則として参加大学が窓口となるとの説明であった。本件に JES として応募することが承認された。

(9) その他

鳥居塚理事長および三林関東支部長より、大久保堯夫先生逝去のお知らせがあった。学会誌に斉藤進先生（大久保先生が会長時に副会長、その後会長）が追悼文を執筆することとなった。また、ご子息からの弔問に関するお知らせは理事にメール配布し、適宜関係者に知らせることとなった。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 鳥居塚理事長が第 67 回理事会議事録について報告した。

(1-2) 新入会と退会

横井総務理事より2023年12月末現在、会員数1,257名(+22名)、賛助会員22社23口との報告があった。

(1-3) メールによる審議の結果1件について報告。

(1-4) 日本出版サービスの廃業と学会誌販売業務について

学会誌の販売業務を長期に渡り委託していた日本出版サービス株式会社が廃業したため、今後の学会販売業務は学会事務局が担当する。

(1-5) EBSCO (エブスコ): 『人間工学』の学術論文データベース収録について

編集委員会に掲載について事前に相談しており、費用は掛からず、実作業も発生しないため、今後登録を進めると報告があった。

(2) 財務報告 12月度収支計算書

笠松財務理事より、12月度収支計算書について概ね例年通りの旨報告があった。講演会収入については、現在、鳥居塚理事長を中心に準備中と説明があった。第64回大会より100万円の返金があった。

(3) 第64回大会(2023年9月7~8日)収支報告

下村第64回大会長より収支報告があった。収入総額は学会からの助成を含めて5,917,000円、支出総額は4,205,358円となり、学会からの助成金100万円を返金し、残りの711,642円を千葉大学人間生活工学研究室の教育研究費に寄付するとの報告があった。

(4) 第65回大会(2024年6月22~23日)準備状況報告

小林第65回大会長より、大会HPを公開したこと、大会テーマ「私たちと知能・自律型システムが共存する社会のために」や懇親会等について紹介があった。ホテルの予約が難しいので、早めに抑えて欲しい旨案内があった。

(5) 担当・委員会報告

(5-1) 広報委員会

青木委員長より、10月6日KANSEIサロンについてイベント報告があった。2023年は人間工学グッドプラクティスデータベースの登録数が5件だった。

(5-2) 編集委員会

今回はなし。

(5-3) 国際協力委員会

小谷委員長より、12月14~16日にインドでアジア人間工学デザイン会議が開催された旨、報告があった。

(5-4) ISO/TC159 国内対策委員会

佐藤委員長より、標準化貢献賞の推薦を進めていること、規格に関する事など委員会活動について報告があった。

(5-5) 表彰委員会

今回はなし。

(5-6) 安全人間工学委員会

狩川委員長より、安全工学シンポジウム2024に今年も共催の形で参加する旨報告があった。

(5-7) 学術担当

今回はなし。

(5-8) 人間工学専門家認定機構

八木機構長より、2月17日に大阪で開催する認定試験の準備を進めていることと、応募締め切りが1月12日と案内があった。

(5-9) 若手支援委員会

境副委員長より、12月関東支部大会で人間工学専門家認定機構と合同で若手向けイベントを開催した旨、報告があった。

(5-10) 企業活動推進委員会

今回はなし。

(5-11) 国際誌検討委員会

今回はなし。

(5-12) 子どものICT活用委員会

今回はなし。

(5-13) 将来構想・普及委員会

今回はなし。

(5-14) PSE委員会

今回はなし。

(5-15) 第9期選挙管理委員会

松田委員長より、i-Voteによる代議員選挙で次期(第9期)代議員が確定した旨報告があった。現在、次期支部長決定の連絡を待っている状況で、役員選挙を2月に実施する。

(5-16) 役員候補者推薦委員会

吉武委員長より、第一回委員会を開催し、準備を進めている旨報告があった。

(6) 支部報告

(6-1) 北海道支部

小林支部長より、次期支部長も継続すること、北海道支部大会を11月25日(土)に小樽商科大学小樽キャンパスにて開催した旨、報告があった。

(6-2) 東北支部

高橋支部長より、支部長選挙は本日投票締め切りで進めていること、12月9日に支部研究会を開催したこと、次回支部研究会は3月に開催予定の旨、報告があった。

(6-3) 関東支部

三林支部長より、関東支部大会と総会を12月2日(土)に東京都立大学にて開催したこと、次年度大会は産総研で開催すると報告があった。支部長選挙は完了し、次期支部長は松田礼先生に決定した。

(6-4) 東海支部

斎藤支部長より、11月11日に椋山女学園大学で支部研究大会を開催した旨報告があった。支部長の選出は完了しているので、改めて報告する。

(6-5) 関西支部

小谷支部長より、3月30日に支部総会、講演会を開催する準備を進めている旨、報告があった。支部長の選出について選挙を進めており、決定次第改めて報告する。

(6-6) 中国・四国支部

石原支部長より、次期支部長は石原恵子先生に決定した旨、報告があった。

(6-7) 九州・沖縄支部

庄司支部長より、九州・沖縄支部大会を12月1日(金)に折尾まちづくり記念館 和田親宗大会長にて開催した旨報告があった。支部長選挙は完了しているので、改めて報告する。

(7) その他

今後の理事会日程について

鳥居塚理事長より、今後の理事会日程について案内があった。

(8) 閉会

以上の議事を終え、19時25分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

2024年1月10日

代表理事

鳥居塚 崇^印

監事

赤松 幹之^印